

注3

大学番号：525

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

福山大学大学院 薬学研究科医療薬学専攻博士課程

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 福山大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部

職名・氏名 フクフチョウ マツ オカ テツ エ
副部長 松岡 哲衛

電話番号 084-936-2111（代）

（夜間） 084-936-2122

F A X 084-936-2213

e-mail soumu@fucc.fukuyama-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部
（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	8
4	既設大学等の状況	9
5	教員組織の状況	12
6	留意事項に対する履行状況等	17
7	その他全般的事項	18

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 福山大学

(2) 大学名

福山大学

(3) 大学の位置

〒729-0292

広島県福山市東村町字三蔵985番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(シ ミズ アツ ミ) 清水厚實 (平成23年6月)		
学長	(マツ ダ フミ コ) 松田文子 (平成22年6月)		
研究科長	(シブ ヤ ヒロ タカ) 澁谷博孝 (平成23年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程) 博士(薬学)	4年	3人	12人	基礎となる学部等 薬学部 薬学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人 () []	3 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	0.33倍				
志願者数	() []	() []	() []	() []	1 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	1 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	1 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	1 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					0.33			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
計	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	0人	平成21年度	人	人		#DIV/0! %
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	人	0人	平成22年度	人	人		#DIV/0! %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	1人	0人	平成24年度	0人	0人		0 %
合計	1人	0人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分子薬学 コース群	分子代謝制御学特論	1～3前		2		1						
	シグナル伝達特論	1～3後		2		1						
	分子腫瘍機構特論	1～3前		2		3					オムニバス	
	細胞分子構造学特論	1～3後		2		2	1				オムニバス	
	分子血液学特論	1～3前		2		1	1				オムニバス	
	微生物と化学療法学特論	1～3後		2		2					オムニバス	
	薬物分子認識学特論	1～3前		2		1						
	医薬分子化学特論	1～3後		2		3					オムニバス	
	生理活性素材学特論	1～3前		2		3					オムニバス	
	生体分子解析学特論	1～3後		2		1	1				オムニバス	
	パーチャルスクリーニング解析学特論	1～3前		2		1	1				オムニバス	
分子薬学論情報演習（外国語、ITを含む）	1～3後		2		3					オムニバス		
病態制御学 コース群	薬物送達学特論	1～3前		2		1						
	医薬品製剤安定性特論	1～3後		2		1						
	薬効解析科学特論	1～3前		2		1						
	神経薬理学特論	1～3後		2		4					オムニバス	
	臨床免疫病態学特論	1～3前		2		1						
	薬物動態学特論	1～3前		2		2					オムニバス	
	薬剤設計学特論	1～3後		2		1						
	臨床薬剤学特論	1～3前		2		3					オムニバス	
	薬剤情報解析特論	1～3後		2		2					オムニバス	
	漢方薬理学特論	1～3前		2		1						
	放射線統合解析学特論	1～3前		2			1					
病態制御学論情報演習（外国語、ITを含む）	1～3後		2		3					オムニバス		
社会環境薬学 コース群	活性天然薬物学特論	1～3前		2		2					オムニバス	
	補完代替医療特論	1～3後		2		1						
	環境保健特論	1～3前		2		1						
	毒性・中毒学特論	1～3後		2		1						
	公衆衛生学特論	1～3前		2		1	1				オムニバス	
	予防薬学特論	1～3後		2		1						
	薬剤疫学特論	1～3前		2		2					オムニバス	
	生活習慣病特論	1～3後		2		1	2				オムニバス	
	セルフメディケーション特論	1～3前		2		2					オムニバス	
	在宅医療特論	1～3後		2		2					オムニバス	
	医療情報データベース特論	1～3前		2		2	1				オムニバス	
社会環境薬学論情報演習（外国語、ITを含む）	1～3後		2		3					オムニバス		
共通 コース 通群	高度医療薬学研修Ⅰ	1～4通		2		6						
	高度医療薬学研修Ⅱ	1～4通		2		6						
博士 研究 論文 演習	博士論文基礎演習Ⅰ	1前	1			23						
	博士論文基礎演習Ⅱ	1後	1			23						
	博士論文応用演習Ⅰ	2前	1			23						
	博士論文応用演習Ⅱ	2後	1			23						
	博士論文作成演習Ⅰ	3前	1			23						
	博士論文作成演習Ⅱ	3後	1			23						
	博士論文作成演習Ⅲ	4前	1			23						
	博士論文作成演習Ⅳ	4後	1			23						

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 38	科目 0	科目 46	科目 8	科目 38	科目 0	科目 46	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{46} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)				
	校舎敷地	109,418 m ²	991 m ²	0 m ²	110,409 m ²					
	運動場用地	90,356 m ²	0 m ²	0 m ²	90,356 m ²					
	小 計	199,774 m ²	991 m ²	0 m ²	200,765 m ²					
	そ の 他	139,397 m ²	0 m ²	0 m ²	139,397 m ²					
	合 計	339,171 m ²	991 m ²	0 m ²	340,162 m ²					
(2) 校 舎	専 用	105,862 m ² 105,804 m ²	5,932 m ²	0 m ²	111,794 m ² 111,736 m ²	H22年度新規取得建物の 確認面積と保存登記 時の登記算入面積の差 (58m ² 増) (24)				
	(105,862 m ²) (105,804 m²)	(5,932 m ²)	(0 m ²)	(111,794 m²) (111,736 m²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	37 室	100 室	328 室	14 室 (補助職員 人)	4 室 (補助職員 人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	薬学研究科 医療薬学専攻			32 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	標本については 大学全体		
	薬学研究科 医療薬学専攻	40,624 [18,172] 37,400 [14,228] (40,624 [18,172]) (37,400 [14,228])	718 [365] 714 [364] (718 [365]) (714 [364])	13 [8] 5 [5] (13 [8]) (5 [5])	318 (317) (278)	3,391 (3,299) (3,391)	157 (157)			
	計	40,624 [18,172] 37,400 [14,228] (40,624 [18,172]) (37,400 [14,228])	718 [365] 714 [364] (718 [365]) (714 [364])	13 [8] 5 [5] (13 [8]) (5 [5])	318 (317) (278)	3,391 (3,299) (3,391)	157 (157)			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 容 可 能 数							
	3,891 m ²	653 席	423,901 冊							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	3,342 m ²	野球場1面	サッカー場1面	テニスコート4面	スポーツトレー ニングルーム					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体		
		教員1人当り 研究費等	教授	544 千円	544 千円	図書購入費	千円		千円	千円
			准教授	536 千円	536 千円		69,000		55,000	55,000
			講師	536 千円	536 千円					
	助教	240 千円	240 千円	設備購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	0千円	0千円		492,000	281,836 250,000	250,000			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
1,550千円		1,350千円	1,350千円	1,350千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		学生納付金のみ								

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福 山 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経済学部									
経済学科	4	204	—	816	学 士 (経済学)	0.74	昭和50年度	広島県福山市 東村町字三蔵 985番地の1	平成22年度より 経済学部は学部 単位で募集 国際経済学科3年次編 入学（編入学定員30 名）は平成24年度より 学生募集停止 夜間主コースは平成24 年より学生募集停止
国際経済学科	4	60	—	270	学 士 (経済学)		平成8年度		
夜間主コース	4	—	—	—	学 士 (経済学)				
税務会計学科	4	50	—	200	学 士 (経済学)		平成18年度		
人間文化学部									
人間文化学科	4	50	—	225	学 士 (文学)	0.68	平成12年度	人間文化学科3年次編 入学（編入学定員25 名）は平成24年度より 学生募集停止	
心理学科	4	50	—	200	学 士 (心理学)	0.86	平成16年度		
メディア情報文化学科	4	50	—	200	学 士 (学術)	0.48	平成19年度		
工学部									
電子・ロボット工学科	4	50	—	200	学 士 (工学)	0.40	昭和50年度	平成22年度より入学定員減 80人 → 70人(△10人) 平成22年度より入学定員減 60人 → 50人(△10人) 平成22年度より入学定員減 80人 → 70人(△10人)	
建築・建設学科	4	70	—	290	学 士 (工学)	0.59	平成19年度		
情報工学科	4	50	—	210	学 士 (工学)	0.67	昭和61年度		
機械システム工学科	4	70	—	290	学 士 (工学)	0.53	平成3年度		
生命工学部									
生物工学科	4	70	—	300	学 士 (生命工 学)	0.47	平成14年度	平成22年度より入学定員減 90人 → 70人(△20人)	
生命栄養科学科	4	70	—	280	学 士(生命 栄養学)	0.54	平成20年度		
海洋生物科学科	4	80	—	320	学 士 (生命工 学)	1.16	平成14年度		
薬学部									
薬学科	6	200	—	1,200	学 士 (薬学)	0.56	平成18年度		

既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院 経済学研究科 経済学専攻 修士課程	2	8	—	16	修 士 (経済学)	0.93	平成3年度	広島県福山市 東村町字三蔵 985番地の1	
人間科学研究科 心理臨床学専攻 修士課程	2	10	—	20	修 士 (心理 臨床学)	0.12	平成19年度		
工学研究科 電子・電気工学専攻 修士課程	2	8	—	16	修 士 (工学)	0.18	昭和54年度		
土木工学専攻 修士課程	2	8	—	16	修 士 (工学)	0.06	昭和54年度		
建築学専攻 修士課程	2	8	—	16	修 士 (工学)	0.43	平成6年度		
情報処理工学専攻 修士課程	2	8	—	16	修 士 (工学)	0.00	平成3年度		
機械工学専攻 修士課程	2	8	—	16	修 士 (工学)	0.12	平成7年度		
電子情報工学専攻 博士課程	3	2	—	6	博 士 (工学)	0.00	平成7年度		
地域空間工学専攻 博士課程	3	3	—	9	博 士 (工学)	0.11	平成8年度		
設計生産工学専攻 博士課程	3	2	—	6	博 士 (工学)	0.00	平成10年度		
生命工学専攻 博士前期課程	2	24	—	48	修 士 (工学)	0.20	平成2年度		
博士後期課程	3	4	—	12	博 士 (工学)	0.16	平成7年度		
薬学研究科 医療薬学専攻 博士前期課程	2	—	—		修 士 (薬学)		昭和62年度		平成24年度より 学生募集停止
博士後期課程	3	—	—		博 士 (薬学)		平成7年度		平成24年度より 学生募集停止
博士課程	4	3	—	12	博 士 (薬学)	0.33	平成24年度		平成24年度新設

大学の名称	福山平成大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経営学部			3年次						
経営学科	4	50	—	250	学 士 (経営学)	0.88	平成6年度	広島県福山市 御幸町大字上岩成 正戸117-1	平成22年度より入学定員減 100人 → 50人(△50人)
福祉健康学部									
福祉学科							平成16年度		
社会福祉コース	4	40	—	160	学 士 (福祉学)	0.38	平成21年度		
介護福祉コース	4	20	—	80	学 士 (福祉学)	0.47	平成21年度		
こども学科	4	50	—	200	学 士 (こども学)	0.96	平成20年度		
健康スポーツ科学科	4	100	—	400	学 士(健康ス ポーツ科 学)	1.03	平成16年度		
看護学部									
看護学科	4	80	—	320	学 士 (看護学)	1.18	平成19年度		
大学院									
経営学研究科									
経営情報学専攻									
修士課程	2	5	—	10	修 士 (経営 情報学)	0.40	平成12年度		
スポーツ健康科学研究科									
スポーツ健康科学専攻									
修士課程	2	5	—	10	修 士 (スポーツ 健康学)	0.50	平成21年度		
看護学研究科									
看護学専攻									
修士課程	2	5	—	10	修 士 (看護学)	1.00	平成21年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	日比野 俐 (67)	平成24年4月	医薬分子化学特論 生理活性素材学特論						
専任	教授	塩見 浩人 (67)	平成24年4月	神経薬理学特論						
専任	教授	西尾 廣昭 (65)	平成24年4月	分子血液学特論 神経薬理学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	大濱 修 (64)	平成24年4月	高度医療薬学研修Ⅰ 高度医療薬学研修Ⅱ						
専任	教授	廣瀬 順造 (64)	平成24年4月	バーチャルスクリーニング解析学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	澁谷 博孝 (64)	平成24年4月	活性天然薬物学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	金尾 義治 (63)	平成24年4月	薬物動態学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	吉富 博則 (63)	平成24年4月	臨床薬剤学特論 高度医療薬学研修Ⅰ 高度医療薬学研修Ⅱ 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	福長 将仁 (62)	平成24年4月	微生物と化学療法学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	鶴田 泰人 (62)	平成24年4月	生体分子解析学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専任	教授	宇野 勝次 (61)	平成24年4月	微生物と化学療法学特論 臨床免疫病態学特論 薬剤情報解析特論 病態制御学論情報演習 (外国語、ITを含む) 医療情報データベース特論 高度医療薬学研修Ⅰ 高度医療薬学研修Ⅱ 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	藤岡 晴人 (60)	平成24年4月	生理活性素材学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	森田 哲生 (60)	平成24年4月	分子代謝制御学特論 シグナル伝達特論 分子腫瘍機構特論 分子薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	富田 久夫 (60)	平成24年4月	薬物送達学特論 医薬品製剤安定性特論 病態制御学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	岡村 信幸 (58)	平成24年4月	漢方薬理学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	石津 隆 (58)	平成24年4月	薬物分子認識学特論 医薬分子化学特論 分子薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	江藤 精二 (57)	平成24年4月	分子腫瘍機構特論 臨床薬剤学特論 薬剤情報解析特論 医療情報データベース特論 高度医療薬学研修Ⅰ 高度医療薬学研修Ⅱ 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専任	教授	片山 博和 (56)	平成24年4月	薬剤設計学特論 セルフメディケーション特論 在宅医療特論 高度医療薬学研修Ⅰ 高度医療薬学研修Ⅱ 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	赤崎 健司 (55)	平成24年4月	細胞分子構造学特論 公衆衛生学特論 予防薬学特論 薬剤疫学特論 社会環境薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	杉原 成美 (55)	平成24年4月	環境保健特論 毒性・中毒学特論 生活習慣病特論 セルフメディケーション特論 社会環境薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	井上 敦子 (55)	平成24年4月	薬効解析科学特論 神経薬理学特論 病態制御学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	田中 哲郎 (53)	平成24年4月	薬物動態学特論 薬剤疫学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	大橋 一慶 (51)	平成24年4月	活性天然薬物学特論 補完代替医療特論 社会環境薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	田村 豊 (48)	平成24年4月	分子腫瘍機構特論 神経薬理学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専任	教授	町支 臣成 (47)	平成24年4月	医薬分子化学特論 生理活性素材学特論 分子薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	佐藤 英治 (44)	平成24年4月	臨床薬理学特論 在宅医療特論 高度医療薬学研修 I 高度医療薬学研修 II 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	准教授	小嶋 英二郎 (48)	平成24年4月	分子血液学特論						
専任	准教授	本屋敷 敏雄 (45)	平成24年4月	細胞分子構造学特論 放射線統合解析学特論						
専任	准教授	井上 裕文 (42)	平成24年4月	生体分子解析学特論 生活習慣病特論						
専任	准教授	秦 季之 (42)	平成24年4月	バーチャルスクリーニング解析学特論 医療情報データベース特論						
専任	准教授	道原 明宏 (41)	平成24年4月	公衆衛生学特論 細胞分子構造学特論						

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**認可時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
26	5	31	0	26	5	31	0	
(26)	(5)	(31)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由 (該当なし)

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任 (就任辞退を含む) 等の理由
1		「該当なし」	
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学的な委員会である大学教育センター運営委員会（委員24人）の中に教育評価改善部門（5名）を設置し、FD活動、授業評価等の取り組みを行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学教育センター運営委員会・・・① 4/ 8（21人）、② 5/20（20人）、③ 6/17（20人）、④ 7/15（21人）、⑤ 9/ 9（21人）、⑥10/14（16人）、⑦11/18（21人）、⑧12/16（22人）、⑨ 1/20（24人）、⑩ 2/17（20人）、⑪ 3/16（23人） ・ 教育評価改善部門・・・・・・① 5/17（5人）、② 1/13（5人）、③ 2/7（5人）、④ 3/27（4人） 部門長と委員とのEメールでの会合を随時開催 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学教育センター運営委員会 <ul style="list-style-type: none"> ① ◇大学教育センター規則に基づいて運営組織の説明及び部門委員の選任 ◇新年度から導入した新事業について ② ◇大学教育センター22年度実施報告及び23年度計画について ◇共通教育科目・キャリア科目「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」の運用について ◇平成23年度前期 授業評価アンケートの実施について ◇学生の学習成果（ラーニング・アウトカム）評価アンケートの実施について ③ ◇教養講座講師選任について（平成23・24年度） ◇ディベロップメンタル教育（公文式学習会）の実施について ◇学内でのFD活動について ◇キャリア科目「キャリアデザイン」の扱いについて ④ ◇平成24年度新入生オリエンテーションについて ◇キャリア教育のあり方について ⑤ ◇キャリア教育について ◇授業評価・FDについて ⑥ ◇キャリア教育について ◇教育懇談会の実施結果について ◇FDについて
--

- ⑦ ◇学年暦について
 - ◇「授業評価・自己点検」アンケートの実施について
 - ◇キャリア教育について
 - ◇キャリア教育に関する講演会開催について
 - ◇退学調査書の取り扱いについて
- ⑧ ◇教養講座 来年度前期の予定並びに後期教養講座講師推薦について
 - ◇学外者（企業懇談会参加企業）のアンケート調査について
- ⑨ ◇学生便覧上でのポリシーおよびカリキュラムマップの記載について
 - ◇教養講座の内規変更について
 - ◇卒論発表会の広報（HP上での公開）について
- ⑩ ◇外部の外国語能力検定試験結果の単位への振り替えについて
 - ◇GPAについて
- ⑪ ◇教養講座の講師選任について
 - ◇英語ブレイスメントテスト実施について

・教育評価改善部門

- ① ◇教育評価改善部会の役割について
 - ◇前期授業評価アンケートの実施方法について
 - ◇初年次学生の意識調査の実施について
- ② ◇後期授業評価アンケートの集計結果について
- ③ ◇アウトカム評価（卒業生によるアンケート調査）の実施について
 - ◇卒業生採用実績企業によるアウトカム評価アンケートの実施について
- ④ ◇H23年度に実施した各種アンケート調査の総合評価について

② 実施状況

a 実施内容

- ・学部の授業に関するアンケート調査（全学対象）
- ・学部学生の学習の取り組みに対する自己評価アンケート調査（全学対象）
- ・JFS2011（新入生アンケート調査）の実施（全1年次生対象）
- ・卒業生によるアンケート調査（全卒業生対象）
- ・卒業生採用実績企業によるアウトカム評価アンケートの実施
- ・FD講演会開催（全学対象） 7/30 17時より全学教員を対象に「福山大学における内部質保証」
松浦史登 副学長による講演。
- ・FD研修会（8回）の企画・開催
 - ◇「PBL形式の授業参観」 9/29（大学教育センター、薬学部の共催）
 - ◇「SGD形式の授業参観」 9/30（大学教育センター、薬学部の共催）
 - ◇「講義とワークの複合型授業の参観」 10/ 1（大学教育センター、薬学部の共催）
 - ◇「PBL形式の授業参観」 10/20（大学教育センター、薬学部の共催）
 - ◇「学生支援としてのメンタルケア」 11/23（大学教育センター、学生委員会、
保健管理センター、大学教育センターの共催）
 - ◇「講義とワークの複合型授業の参観」 12/ 9（大学教育センター、薬学部の共催）
 - ◇「ICT教育の現状と今後の展望」 12/21（大学教育センター、情報処理教育センター、
人間文化学部メディア情報文化学科の共催）
 - ◇「ファカルティとスタッフの合同研修会」 1/18（大学教育センター、自己評価委員会の共催）
- ・新任教職員オリエンテーションの実施 4/ 4（大学本部が実施）
- ・大学及び大学院の教育研究上の目的を明確にし、教育の質の向上を図るために、各学部及び各研究科の教育理念（下記3ポリシー）と学位取得までの指導計画を作成し、HP・学生便覧等で公表した。
 - ①アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）
 - ②ディプロマ・ポリシー（修了要件・学位授与の方針）
 - ③カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）
 - ④カリキュラムマップ（学部）、学位取得までの指導計画（大学院）

b 実施方法

- ・学生による授業評価アンケートは、全ての授業担当教員（非常勤を含む）一人当たり原則1科目の授業について実施。
- ・学習の取り組みに対する学生による自己評価アンケート調査は授業評価アンケートと同時に実施。
- ・新入生アンケート調査は、同志社大学教育センター山田礼子教授主催のJFS2011に協力し、全1年次生（但し、薬学部と海洋生物科学科は50%の学生）に対して実施。
- ・卒業生によるアンケート調査は全卒業予定者を対象に2月～3月に学科毎に実施。
- ・卒業生採用実績企業によるアウトカム評価アンケート調査は、福山大学企業懇談会（3/7開催、参加企業177社）において実施。
- ・FD講演会開催（全学対象）・・・助教以上の全学教員が出席する全学教授会終了後に続いて開催。
- ・FD研修会（8回）の企画・開催
「PBL形式の授業参観」「SGD形式の授業参観」「講義とワークの複合型授業の参観」については、授業への影響に配慮して参加定員を13～24名に設定して全学教員に対して参加者を公募し、定員数の教員が出席。「学生支援としてのメンタルケア」参加者18名、「ICT教育の現状と今後の展望」参加者33名、「ファカルティとスタッフの合同研修会」は教員は学部長、副学長、事務職は事務長、部長、課長クラスを対象に実施。
- ・新任教職員オリエンテーションの実施（4/4）
新任教職員(11名)に対し、教育システム、大学法人の組織運営、教務関係事項、学生関係事項、図書館関係等について、関係部局長から説明を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学生による授業評価アンケート及び自己評価アンケート調査（回答率は75%）。
- ・新入生アンケート調査は、同志社大学教育センター山田礼子教授に集計依頼。
- ・卒業生によるアンケート調査（回収率94%）。
- ・卒業生採用実績企業によるアウトカム評価アンケート調査（回収率69%）。
- ・FD講演会開催（全学教授会出席教員が全員出席）。
- ・FD研修会（8回）の企画・開催
 - ◇「PBL形式の授業参観」 9/29（参加者24名）
 - ◇「SGD形式の授業参観」 9/30（参加者24名）
 - ◇「講義とワークの複合型授業の参観」 10/1（参加者24名）
 - ◇「PBL形式の授業参観」 10/20（参加者24名）
 - ◇「学生支援としてのメンタルケア」 11/23（参加者18名）
 - ◇「講義とワークの複合型授業の参観」 12/9（参加者20名）
 - ◇「ICT教育の現状と今後の展望」 12/21（参加者33名）
 - ◇「ファカルティとスタッフの合同研修会」 1/18（参加者16名）
- ・新任教職員オリエンテーションの実施 4/4（参加者、新任教職員11名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業評価アンケート、学生の自己評価アンケート、企業による卒業生評価アンケートの集計結果を全教員に各学科長を介してフィードバックし、改善点を学科毎に議論を進めている。
卒業生に対するアンケート調査結果は、平成24年5月にフィードバックする予定である。これらの結果を基に、平成23年度の教員個人計画に対する自己評価、学科長、学部長による評価を行う。
さらに、各教員が自己点検を踏まえて、平成24年度の教員個人の年度計画を作成し改善を図る。
また、授業評価アンケート及びFD研修について全教員に報告書の提出を求め、授業改善への方策の立案と実行を求めている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成23年前期の授業評価を平成23年6月20日～7月2日の期間に実施。
平成23年後期の授業評価を平成23年12月5日～12月17日の期間に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生による授業評価アンケートの集計結果は、授業科目担当教員に学科長を通してフィードバックしている。また、受講学生に対しては担当教員が講義時間の一部を利用してフィードバックしている。
調査結果は大学HPに平成24年5月掲載予定。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>本研究科は、設置届出書基本計画書に記載したとおり、より高度な知識・技能および研究能力を有する薬剤師等を養成することを目的に平成23年6月に設置届出をおこない平成24年4月に開設となった。</p> <p>平成24年度においては、入学者選抜、教育課程、教員組織、授業科目および施設設備について設置の趣旨、目的および設置時計画に変更なく実施している。入学生は定員3名のところ1名であったので、研究科ホームページでの情報提供の強化改善する他に学部生(5,6年次生)および保証人へ博士課程進学の意義等の理解を深める活動をおこない定員の確保を図る。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表(予定)時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成21年度に実施した薬学部自己評価結果については、平成22年3月、公開済み。・平成23年度に実施した学生による授業評価アンケート結果については、平成24年5月末、公開予定。・平成23年度に実施した大学院生を対象とした大学院の教育・研究等に関するアンケート結果については、平成24年3月、公開済み。 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・大学ホームページ上に公開(授業評価アンケートについては、平成24年5月末を予定)
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・本学は、平成18年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受け、平成19年4月1日に「適合」の評価を受けている。認定の期間は2014(平成26)年3月31日までであり、平成25年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で準備中である。

- (注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
- また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
- なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成 2 4 年 6 月 1 日)</p>
